

卒後2年目看護職員 教育支援プログラム

部署: _____

氏名: _____

2年目フォローナース: _____

到達目標	1. 所属部署の専門領域における知識・技術を深め、安全かつ適切な看護実践ができる 2. 医療チームの一員としての役割を認識しメンバーシップを発揮できる 3. 倫理的問題に気づき、赤十字原則に基づいた行動ができる 4. 専門職業人としての学習課題を明確にし、主体的に自己教育に取り組むことができる * 行動目標は別紙											
部署の卒後2年目看護職員到達目標	* 部署で立案											
個人目標	1年間で何を学びたいのか具体的にあげ、達成するための学習課題を明確化し目標を立案する(BSCと連動)											
目標管理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	□BSC立案・目標面接						□中間評価・中間面接 □2年目目標自己評価				□年度末評価・育成面接 □2年目目標自己評価	
ラダー	□ラダーレベル I 申請に向けた取り組み(未申請の者は10月までの申請を目指す) 看護技術修得とチェックリスト評価、受け持ち患者の看護過程の展開、レベル I 指標達成に向けた取り組みなど							→ レベル II 申請に向けた取り組み				
役割拡大と部署教育	役割例)夜勤内回り、係活動、チーム移動、リーダー業務など											
	部署教育例)受け持ち患者の個別性をもった看護過程の展開と症例発表、自己学習の発表会、ナラティブ事例共有会、倫理的事例の検討会、リフレクション、看護研究の取り組みなど											
	* 部署で立案											
2年目フォローナースによる教育支援	□BSC立案支援 □役割拡大時のオリエンテーション、業務調整 □ラダー申請の支援(チェックリストなど) □精神的支援					□BSC中間評価支援 □2年目目標他者評価			□BSC年度末評価支援 □2年目目標他者評価			
スタッフ	2年目フォローナースと協力しながら、スタッフ全員で支援する(チェックリストなど)											
看護部集合研修			□看護研究の基礎 □リーダーシップ研修(レベル I 認定済みの者)	□2年目看護職員研修	□看護倫理 II (レベル I 申請後が望ましい) □フィジカルアセスメント	□災害看護概論(レベル I 申請後が望ましい)		院内看護研究発表会	院内看護研究発表会	院内看護研究発表会	院内看護研究発表会	
院内その他の研修	医療安全講習、ICT研修、NST研修、ホスピタリティ研修、呼吸ケアチーム勉強会、緩和ケアチーム勉強会など →											
院外研修	専門性を高める研修や自己教育に必要な研修(疾患看護、事故防止、感染管理、接遇、ICLS、心電図、退院支援、家族看護、看護を深める研修、看護協会夏季研修など) →											
評価				□2年目看護職員研修後レポート * 部署でのフィードバック		□BSC達成状況 □2年目目標達成状況 □部署の専門性のチェックリスト達成状況						□BSC達成状況 □2年目目標達成状況 □部署の専門性のチェックリスト 達成状況 □年度末レポート テーマ「1年間の成長・看護観」